

第二種電気工事合格への道

当組合では電気工事業界の人材育成を図るため令和5年5月12日(金)～14日(日)に第二種電気工事士筆記試験(上期)に向けた受験準備講習会を開催します。前回は組合員の皆様以外にも多数の申込を頂きました。今回の講習会でも効率よく行うため、テキストに沿って大事なところを重点的に勉強し、短時間で実力を上げ、合格を目指す。

☆資格を取得するメリット☆

- 年齢や学歴・職歴に関係ない
- 初心者の方でも取得可能
- 1年に2回受験できる
- 受験者が増加している人気の資格
- 国家資格の中で難易度は、中～低ぐらい(合格率は60%前後。)

第二種電気工事士筆記試験の勉強方法は大きく3つに分けることができます。

- ・1つ目は、テキストを読む
- ・2つ目は、配線図記号や工具等の専門用語の暗記
- ・3つ目は、過去問を解くなどの実践的な勉強

筆記試験の問題は、毎回同じような構成で出題され、過去問の類似問題が出題される傾向にあります。筆記試験の攻略は、過去問題を攻略することが一番の近道です。具体的な勉強法としては、まずは点数を取りやすい基本用語問題を着実に覚えることをおすすめします。テキストには、写真や図解が載っていますので、名称と使い方や特徴を合わせて覚えることが大切です。

【問題例】



- イ. 接地抵抗計
- ロ. 漏れ電流計
- ハ. 絶縁抵抗計
- ニ. 検相器

【過去問 令和3年度下期 一般18問】

答え ハ 絶縁抵抗計(メガー)

【合格基準点】

筆記試験は全50問×各2点の計100点満点です。過去の傾向から、自己採点で60点以上獲得できれば筆記試験は合格と考えて大丈夫です。

● 筆記・技能講習会受講された声

男性 T.Mさん

独学で理解できない問題があり、今回講習会を受け、問題の解き方や考え方を教わり理解度が増しました。

女性 E.Oさん

家で教本見ながら練習していたので、きちんと作品を先生に見てもらえ、合格と言ってもらえると安心しました。

【技能試験受験概要】

・「筆記試験合格者」と「筆記試験免除対象者」のみが技能試験を受験できます。毎年1月に13問の候補問題(昨年と同じ)が公表され、その中から1問が出題されます。よって事前に練習を行う事が可能です。

試験会場では、作業用工具は必ず持参しなければなりません。試験は机上で器具(スイッチ、コンセントなど)間の配線と接続を行い、試験時間は40分、完成した配線に欠陥がなければ合格となります。



前回の技能講習会の様子

第二種電気工事士技能試験の勉強方法は大きく3つに分けることができます。

- ・1つ目は、複線図を書けるようにする
- ・2つ目は、工具をそろえる
- ・3つ目は、実際に施工し、時間内に課題を完成させる

まず技能試験ではいかに早く複線図が書けるかが合格のカギとなります。複線図の知識は筆記試験対策にも役立つので、早いうちから勉強に取りかかり、繰り返し練習して下さい。

当組合の講習会では、技能試験は、専門的な知識・技術・技能を問われるため、制限時間を意識しながら、全ての公表問題を実際に作成し、判断基準を熟知している講師陣が受講生の作品を確認し、アドバイスをしていきます。

毎回講習会では、電気関連に未経験で工具に触れたことのない方が多く受講され、上達レベルは様々ですが、しっかり受講いただければ、ほとんどの皆さんが合格ラインに到達可能です。

※ 第二種電気工事士筆記試験(上期)受験準備講習会を3月中旬から下旬ごろ募集かけますので皆様のご参加お待ちしております。

担当 組合事務局 業務課 森
TEL022-221-2676 FAX022-267-0425